

世界の主要拠点

(平成17年3月31日現在)

国内					
本社	横浜				
支店	仙台	岡山	盛岡	八王子	松本
営業所	関東(さいたま)	太田	新潟	東関東(柏)	
	名古屋	福井	静岡	浜松	大阪
	京都	岡山	福岡	宮崎	
事業所	福井	加賀			

本社/技術・研修センター

株式会社ソディックプラステック

福井事業所

Suzhou Sodick Special Equipment Co.,Ltd.

Sodick America Corporation (San Jose)

Sodick Inc.(Chicago/NJ/LA.)

Sodick Europe Ltd. (U.K.)

Sodick Deutschland GmbH (Germany)

Sodick (Thailand) Co.,Ltd.

Sodick Singapore Pte.,Ltd.

Sodick (H.K.) Co.,Ltd.

Sodick (Taiwan) Co.,Ltd.



Sodick
株式会社 ソディック

第29期 事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



当社のホームページが変わりました

●ソディック ホームページのご案内

<http://www.sodick.co.jp/>



株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。お気軽に下記メールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス: ir@sodick.co.jp

Sodick

株式会社 ソディック

(証券コード:6143)

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111 FAX:045-943-5835



本誌は、古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

Sodick Corporate Highlights

創業以来、常に高度な技術力を駆使し、世の中になく製品を開発し続けてきたソディック。
当社グループが「理想のものづくり」を目指し、当期に行った事業内容についてご紹介いたします。

受賞

AP1L「機械工業デザイン賞特別賞」受賞

7月に小型超精密形彫り放電加工機「AP1L」が日刊工業新聞社主催第34回機械工業デザイン賞特別賞を受賞いたしました。本機は、超精密・超微細加工への飛躍的な性能向上を遂げ、省スペース性と機能性をもったデザインが特長です。



「モノづくり部品大賞部品賞」受賞

3月に(株)ソディックニューマテリアルの「大型セラミックスとエア軸受案内」が「第2回モノづくり部品大賞部品賞」を受賞いたしました。主に、液晶等FPD(フラットパネルディスプレイ)の検査装置の部品として使われております。



展示会

Sodick Plustech Fair in Kaga 開催

5月13、14日、(株)ソディックプラスチック加賀事業所にて、射出成形機の新機種、新製品「クリアメルトシステム」を発表するとともに新しい生産ラインを披露いたしました。

国内外の展示会に積極的に参加

9月にアメリカで行われたIMTS2004では「AQ327/537L(Premium/7シリーズ)」を、11月に東京で行われたJIMTOF2004では超精密マシニングセンタ「The Linear 輝」を発表いたしました。



ニュース

リニアマシン累計出荷台数10,000台を達成

1月にリニアマシン累計出荷台数10,000台を突破したことを記念して、主力生産拠点であるSodick (Thailand) Co.,Ltd.にて記念式典を行い、各地ではプライベートショーを開催いたしました。



スマトラ島沖大地震の震災に対し、タイ赤十字社に義援金贈呈

1月にChitralada PalaceにおいてSirindhom 王女に拝謁し、ソディックグループ5社で義援金をお渡しいたしました。



Total Manufacturing Solution



創造 実行 苦労克服により
ものづくりに貢献するという思い

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期におきまして当社グループは、平成2年3月期以来、15年ぶりに過去最高益を達成することができました。これも株主の皆様方のご指導ご鞭撻の賜物と心より御礼申し上げます。

平成18年3月期は当社にとって記念すべき第30期となりますが、これまで以上に、お客様に満足していただける技術・製品を創り出し、「ものづくり」のお手伝いができますよう粉骨砕身してまいります。

また、株主の皆様のご期待にお応えしていくために、業績の拡大を図ることはもちろんのこと、社内の管理体制等に関しても様々な施策に取り組み、今まで以上に信頼していただける企業になるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
塩田成夫



CONTENTS

Sodick Corporate Highlights	1
株主の皆様へ	2
当期の業績	3-4
Sodickの基本方針	5-6
連結財務諸表(要旨)	7-8
株式情報/株主メモ/株価・出来高の推移	9
会社概要/役員/TOPICS	10

当期の概況

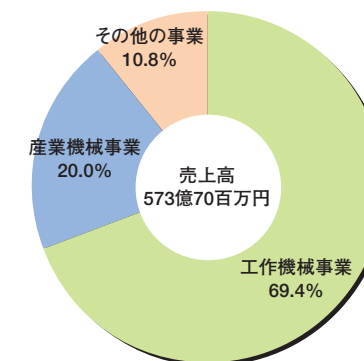
自動車部品関連やIT・デジタル家電関連の増産・技術革新の影響で、主要顧客先である金型産業が活発化したことを受け、国内及びアジア市場を中心として、全体的に順調に推移いたしました。

生産面では、海外生産子会社において機械の増設・更新等の設備投資を積極的に行い、開発面では、各事業セグメントにおいて新機種や新技術の開発を行いました。営業面では、当社製品の優位性をお客様にアピールするため、国内外の展示会に積

極的に出展するとともに、国内各支店・営業所においてプライベートショーを開催いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比126億68百万円増(28.3%増)の573億70百万円となりました。損益面におきましては、経常利益は前期比32億84百万円増(87.6%増)の70億33百万円、当期純利益は52億36百万円と大幅な増益を達成いたしました。

セグメント別概況



【売上高構成比】

工作機械事業

リニアモータテクノロジーを中心とした独自の技術力で、より多くのお客様に満足いただけるよう、高機能・高付加価値製品の開発に取り組んでおります。

中国市場向け戦略機「AQ360L」の売上が前期比の約3倍に達し、小型精密マシニングセンタ「MC430L」が国内精密金型及び精密部品向けに売上が拡大しました。また、昨年9月に世界最高速・自動化対応を実現したワイヤ放電加工機「AQ327/537L (Premium/7シリーズ)」を発表するなどの新機種開発に注力した結果、当事業の売上高は前期比90億31百万円増(29.3%増)の398億18百万円となりました。



産業機械事業

独創的な構造を持つ射出成形機と最先端の技術を備えたリニア応用機器で、お客様の様々なニーズにお応えできる製品を開発しております。

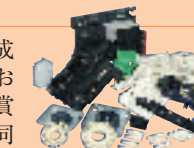
小型精密射出成形機シリーズは、精密プラスチック部品数の増加により、高品位でハイサイクル加工を可能とする当社グループの製品の需要が増加いたしました。また、液晶検査装置用の精密XYステージの販売も順調に推移いたしました。上記の結果、当事業の売上高は前期比23億53百万円増(25.8%増)の114億60百万円となりました。



その他の事業

創業以来開発してきた多彩な技術を活用して、お客様の「ものづくり」をサポートする新しい製品・ビジネスモデルを生み出しております。

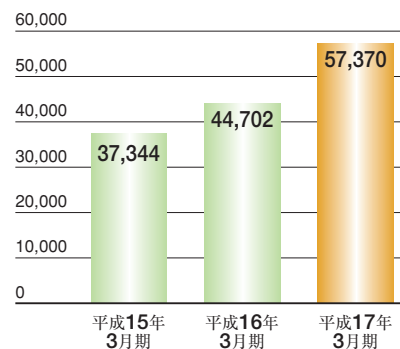
内訳は、CAD/CAMソフトウェアの「DiPro」シリーズ、精密金型・精密成形品の製造販売、大型ファインセラミックスの製造販売などで構成されております。特に大型ファインセラミックス部材に関しては「ものづくり部品大賞 部品賞」を受賞するなど好調に推移した結果、当事業の売上高は前年同期比12億63百万円増(25.7%増)の61億78百万円となりました。



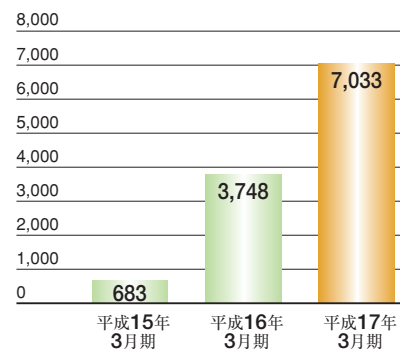
精密プラスチック成形品

連結業績ハイライト

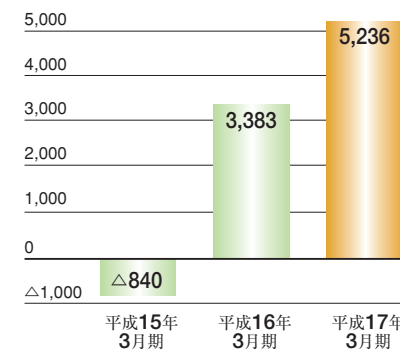
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



当期純利益又は純損失 (単位:百万円)



今後の戦略 / 来期業績予想

日本・中国・アジア・ヨーロッパ・アメリカの5大市場のニーズに合った製品を開発することでマーケットシェアの拡大を図り、生産面では、部材の内製化などの原価低減策を実施いたします。これらの施策を進めることにより、平成18年3月期の業績見通しでは、連結売上高630億円(前期比9.8%増)、連結経常利益82億円(前期比16.6%増)、連結当期純利益53億50百万円(前期比2.2%増)を予想しております。

Sodickの基本方針

ソディックはお客様の「ものづくり」のお手伝いをするを基本方針としており、創業から現在までお客様とともに困難な課題を解決してまいりました。その中で開発された新技術・新製品は、間接的ながら多くの人々の生活にとって、非常に身近な用途に使われております。

新たなニーズの発生

生活の中へ

金型・精密部品

ソディックの技術・製品によって生み出される金型・精密部品



ゴルフクラブのヘッドの金型

携帯電話の金型

化学繊維用紡糸ノズル

お客様のご要望・課題

日本産業の競争力の源泉であり、最先端の「ものづくり」に携わっているお客様のご要望・課題

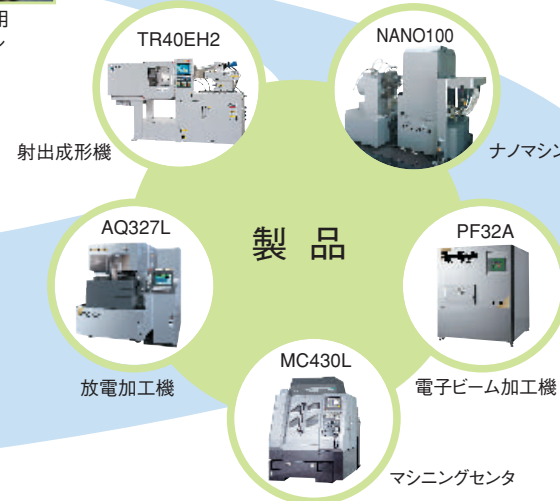
ご要望・課題を解決するための必要条件

5つのコアテクノロジーの確立

最高水準の加工精度、加工速度、多機能化を追求して研究開発を進め5つのコアテクノロジーを確立

- NC (数値制御) 装置
- 放電電源装置
- ファインセラミックス
- リニアモータ
- モーションコントローラ

製品



Sodickの創造力

最も適した場所と方法で開発・製造

主要部材の内製オリジナル技術

最高品質・最高性能の製品を適正な価格で提供できる生産・開発体制を確立

常にお客様の立場で「ものづくり」を行っております

ソディックグループでは、お客様の立場に立った「ものづくり」を行うために、最も適した場所と方法により開発・製造を行っております。さらには、機械構造体用鉄鋳物、セラミック部品、NC (数値制御) 装置、リニアモータ等の主要部材に内製オリジナル技術を組み合わせることにより、品質に妥協することなく最高品質・最高性能の製品を適正な価格でご提供することを可能としています。

解決方法の探求

世界中から最高の技術をリサーチして技術提携・ライセンス契約を行う

それでも見つからないときはブレイクスルー技術の自社開発を行う

固定観念を打破
技術の蓄積

Sodickの精神

SO …… 「創造」
DI …… 「実行」
C・K …… 「苦勞・克服」

Sodickの2005年度の展開

工作機械事業

放電加工機の世界シェアの拡大 → No.1企業を目指す

- 各市場にフィットした製品ラインナップ
 - 高付加価値機種 (精密分野) の売上拡大
 - 自動車関連向け機種の強化
 - 部品加工用機種の強化
- 小型精密マシニングセンタの売上拡大

産業機械事業

- 部品の内製化を進め原価率を低減
- 海外拠点の強化

その他の事業

- 生産自動化ソフトウェアの開発
- セラミック部材販売の多角化
- 金型・成形工場の増設

連結財務諸表 (要旨)

単位：百万円、単位未満切り捨て



連結貸借対照表

科目	期別	
	前期(第28期) 平成16年3月31日現在	当期(第29期) 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	38,161	46,534
現金及び預金	8,448	8,174
受取手形及び売掛金	17,190	20,870
割賦売掛債権	521	351
たな卸資産	10,637	14,538
短期貸付金	594	558
その他	1,838	3,225
貸倒引当金	△ 1,070	△ 1,184
固定資産	21,027	21,615
有形固定資産	17,760	18,052
無形固定資産	472	942
投資その他の資産	2,794	2,620
投資有価証券	1,226	1,557
長期貸付金	45	32
その他	1,859	1,300
貸倒引当金	△ 337	△ 270
資産合計	59,188	68,149

科目	期別	
	前期(第28期) 平成16年3月31日現在	当期(第29期) 平成17年3月31日現在
負債の部		
流動負債	34,700	34,071
支払手形及び買掛金	10,940	12,333
短期借入金	12,957	13,933
1年以内返済予定の長期借入金	2,800	1,665
1年以内償還期限到来の転換社債	3,019	—
未払金	1,830	2,391
未払法人税等	698	781
その他	2,453	2,966
固定負債	5,648	8,585
社債	440	1,940
長期借入金	3,829	4,471
その他	1,378	2,173
負債合計	40,348	42,656
少数株主持分		
少数株主持分	3,271	2,920
資本の部		
資本金	15,766	16,848
資本剰余金	1,947	3,029
利益剰余金	△ 1,498	3,328
その他有価証券評価差額金	262	326
為替換算調整勘定	△ 883	△ 907
自己株式	△ 27	△ 53
資本合計	15,568	22,572
負債、少数株主持分及び資本合計	59,188	68,149

連結損益計算書

科目	期別	
	前期(第28期) 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	当期(第29期) 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
売上高	44,702	57,370
売上原価	29,127	37,658
売上総利益	15,575	19,712
販売費及び一般管理費	10,809	12,934
営業利益	4,758	6,814
営業外収益	422	1,024
営業外費用	1,432	805
経常利益	3,748	7,033
特別利益	1,024	143
特別損失	398	1,403
税金等調整前当期純利益	4,374	5,774
法人税、住民税及び事業税	778	1,085
法人税等調整額	△ 357	△ 1,228
当期純利益	3,383	5,236

連結剰余金計算書

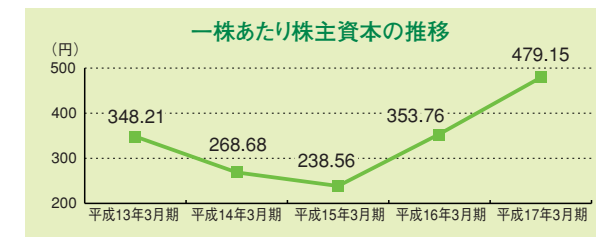
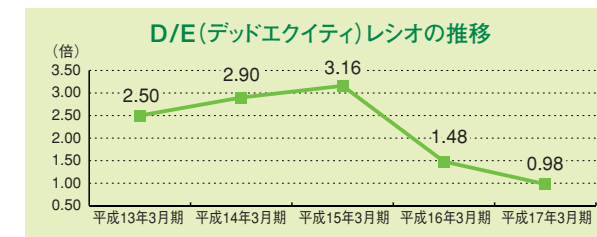
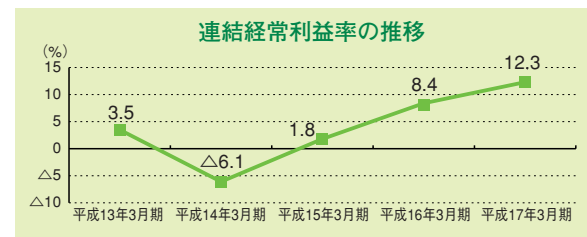
科目	期別	
	前期(第28期) 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	当期(第29期) 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	2,102	1,947
資本剰余金増加高	1,138	1,082
資本剰余金減少高	1,292	—
資本剰余金期末残高	1,947	3,029
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	△ 6,168	△ 1,498
利益剰余金増加高	4,676	5,273
当期純利益	3,383	5,236
利益剰余金減少高	6	446
利益剰余金期末残高	△ 1,498	3,328

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	
	前期(第28期) 平成15年4月1日～ 平成16年3月31日	当期(第29期) 平成16年4月1日～ 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,504	2,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 409	△ 3,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,658	540
現金及び現金同等物の増加額	307	△ 153
現金及び現金同等物の期首残高	7,921	8,229
現金及び現金同等物の期末残高	8,229	8,146

当社グループは、株主の皆様への中長期的な利益還元と財務体質の強化を重視しており、その前提となる経営指標は、連結経常利益率とD/E(デッドエクイティ)レシオを採用しており、それぞれ10%以上、0.7倍以下を目標としております。

区分	数値目標
連結経常利益率	10%以上
D/E(デッドエクイティ)レシオ	0.7倍以下



株式情報 (平成17年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 **98,000,000株**
 発行済株式の総数 **47,108,810株**
 株主数 **6,435名**

大株主		
株主名	持株数(千株)	出資の比率
メップ株式会社	3,324	7.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,723	5.8
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,621	5.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,050	4.4
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティ・インベスメント・グループ131800	1,799	3.8
ザチュースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	852	1.8
ピービーエイチルックスフィデリティファンズジャパンモラーカンパニーズ	787	1.7
株式会社三井住友銀行	748	1.6
日本証券金融株式会社	691	1.5
シティバンクロンドンイーゴンカストディビーヴィ	690	1.5

株主メモ (平成17年6月29日現在)

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	利益配当金 毎年3月31日
	その他必要がある場合は、予め公告する一定の日
1単元の株式数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 〒100-0005 http://www.ufjtrustbank.co.jp
名義書換事務取次場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 03-5683-5111 (代表)
お問い合わせ先	☎ 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村証券株式会社 本店・全国各支店
公告掲載方法	当社ホームページにおける電子公告
貸借対照表及び損益計算書に係る情報は、当社ホームページ http://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html においてご提供いたします。	

会社概要 (平成17年3月31日現在)

会社名 株式会社ソディック
 所在地 (本社) 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
 〒224-8522 TEL: 045-942-3111 (代表)

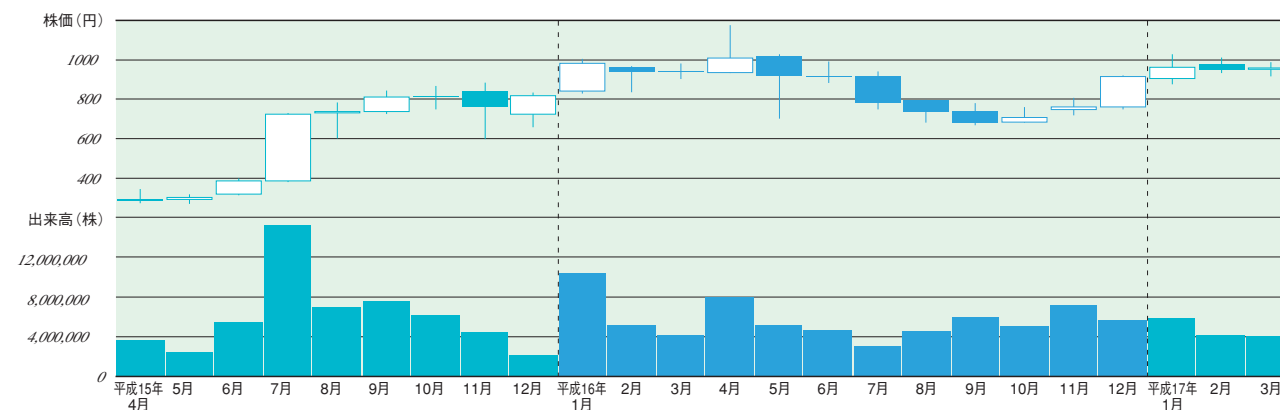
設立 昭和51年8月3日
 資本金 168億4,873万9,258円
 代表者 塩田成夫
 従業員数 186人(連結2,704人)
 連結子会社 31社
 営業品目 NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/NC細穴放電加工機/数値制御電源装置/マシニングセンタ/ナノ加工機/金型設計製作用CAD/CAMシステム/精密射出成形機/工業用セラミックス/精密リニアプレスセンタ/産業機械向けリニアモータ/電子ビームPIKA面加工機/その他電気加工装置/放電加工機専用治具/放電加工機用消耗品/金型・成形品/その他

役員 (平成17年6月29日現在)

代表取締役会長 鈴木 正昭
 代表取締役社長 塩田 成夫
 専務取締役(生産物流本部担当) 山本 孝志
 専務取締役(経営企画担当) 加藤 和夫
 常務取締役(営業統括担当) 滝 耕二
 取締役(管理本部本部長) 藤原 克英
 取締役(研究開発本部本部長) 佐野 定男
 取締役(営業技術本部本部長) 市川 剛志
 取締役(アドバンスト研究本部本部長) 金子 雄二
 取締役(財務部部長) 河本 朋英
 常勤監査役 西島 治彦
 監査役 下山 貞男
 監査役 上野 朔生
 監査役 楠 左衛治
 監査役 小山 秋吉

*監査役のうち、下山貞男と小山秋吉は株式会社の監査等に関する商法の特別に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株価・出来高の推移 (平成15年4月1日～平成17年3月31日)



TOPICS

1単元の株式数変更のお知らせ

個人を中心としたより多くの投資家の皆様が、当社株式を取り引しやすい環境の整備に向けた取り組みの一環といたしまして、当社株主層の拡大及び当社株式の流動性の向上を図ることを目的として、平成17年6月1日より、当社株式の1単元の株式の数を1,000株から100株に変更いたしました。

単元未満株式の買増、買取についてのご案内

当社では、株主様に対するサービス拡充の一環といたしまして、「単元未満株式買増制度」*1、「単元未満株式買取制度」*2を実施しております。お手続きなどの詳細につきましては、当社の名義書換代理人であるUFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

*1「単元未満株式買増制度」：単元未満株式をご所有の株主様が、1単元の株式に不足する数の当社株式を買増して、単元株式としていただく制度。

*2「単元未満株式買取制度」：単元未満株式の売却をご希望される株主様の株式を買い取らせていただく制度。